










内視鏡下逆行性胆管膵管造影（ERCP）及び乳頭切開、結石除去術、経鼻胆道ドレナージ 入院計画表

	初診日～	検査前	検査当日入院	翌日	～退院
説明	・診断/説明をします。 	・医師が検査についての説明をします。  ・看護師が検査前後の経過について説明します。	検査結果について説明します	医師が今後の手術予定等について説明をします。	
検査	心電図 胸部・腹部レントゲン 血液検査、腹部超音波検査、CTスキャン、胃カメラ その他() 		【内視鏡下逆行性胆管膵管造影】 必要に応じ、十二指腸乳頭切開 結石除去、チューブの留置を します。	血液検査、レントゲン検査 (検査による合併症の有無を確認します - 適宜) 	
処置			検査前に入れ歯の方ははずしておきます。 検査前に肩に注射をします。		
治療 (服薬・点滴)	ハイアスピリン・パナルジン等の内服をされている方は 中止します(5～7日)  下剤内服 (チネラック) 		 検査前より点滴を始めます。 	食事開始後内服薬も再開となります。 	
合併症精査	既往症の確認をします(心臓・脳神経・肺・肝・腎) 常用薬の確認をします(ハイアスピリン・パナルジン等) 外科以外の診察の必要な場合は、専門の医師と相談の上検査を行います。		膵炎・出血等の観察をします。		
食事			禁飲食 	容態確認後、食事が再開されます。 	
生活	胆石発作時は緊急入院となります。				